

令和 7 年 度
契 第 50 号

公設地方卸売市場 給水設備改修ほか（衛生）工事設計書

大垣市 古宮町 地内

大 垣 市

工事名称

公設地方卸売市場 給水設備改修ほか（衛生）工事

仕様書

工事概要

給水方式を高置水槽方式からポンプ直送方式に変更し、漏水している埋設配管を改修する。

1. 工事場所 大垣市...古宮町...地内

2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	延べ面積(㎡)	消防法施行令の適用	耐震区分	備考
卸売市場棟	S造 3階建	7900.43	別表第1(15)項		
管理サービス棟	RC造 2階建	918.18	別表第1(15)項		
冷蔵庫棟	RC造 2階建	1660.26	別表第1(15)項		

3. 工事種目（●印の付いたものが対象）

工事種目	卸売市場棟	管理サービス棟	冷蔵庫棟		屋外
空調調設備	●				
換気設備					
排煙設備					
自動制御設備	●	●	●		●
衛生器具設備	●				●
給水設備	●	●	●		●
排水設備	●				
給湯設備					
消火設備	●	●	●		●
厨房設備					
ガス設備					
浄化槽設備					
さく井設備					
特殊設備					
搬去工事	●	●	●		●

4. 指定部分 ●無 ○有（ ）

5. 設備概要

●印を付けたものは、本工事(新営)あるいは既設設備(改修)の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。

方式及び種別	設備概要
空調方式	●空気熱源ヒートポンプ個別パッケージ方式 ○空気熱源ヒートポンプマルチパッケージ方式 ○空気熱源ガスヒートポンプ方式 ○吸収式 ○水冷式 ○空冷式
主要熱源機器	○パナソニック空気調和機 ○冷暖水機 ○圧縮式冷凍機
自動制御方式	●個別式 ○中央監視制御（○集中管理用PLC／OPC）
給水方式	○水道直結方式 ●高置水槽方式 ●受水槽方式 ○増圧給水直結方式
排水方式	雨水排水（○合流式 ○単独式） 建物内汚水、雑排水（●合流式 ○分流式） シンク排水（○汚物 ○雑排水 ○湧水） 建物外放流 汚水（○下水管放流 ○貯留槽切替 ●浄化槽） 雑排水（○下水管放流 ○貯留槽切替 ●浄化槽）
消火設備の種類	●屋内消火栓設備 ○ポンプタンク設備 ○泡消火設備 ○不活性ガス消火設備 ○連結放水設備 ○連結送水管設備
ガスの種類	○都市ガス（種別：13A、発熱量：45MJ/m ³ (N)、供給事業者名 大垣ガス（株）） ○液化石油ガス（○LPガス ○LPガスLPG）

Ⅱ 工事仕様

1. 適用

1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の標準仕様書等によるものとし、●印のついたものを適用する。また、★印のついたものは若工時、受注者事務所に整備するものとし、工事完成時には成果品の一部として納品すること。
●☆公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)(以下「標準仕様書」という。)
●☆公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)(以下「改修標準仕様書」という。)
●☆公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)(以下「標準図」という。)
●☆工事写真撮影ガイドブック・機械設備工事編(最新版)

2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は（／）図、建築工事の特記仕様書は（／）図による。

3）標準仕様書に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、受注者の責任において履行するものとする。

4）全ての設計図書は、相互に補完する。ただし、設計図書間に相違がある場合の適用の優先順位は、次の（1）から（4）までの順番のとおりとし、これにより難い場合は監督職員と協議する。

（1）質疑回答書（（2）から（4）までに対するもの）
（2）特記仕様
（3）図面
（4）標準仕様書

2. 特記仕様

1）章、項目、特記事項共に●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。
2）東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事にあつては「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）によって処理されるものとする。

章

項目

特記事項

●一般共通事項

●1. 官公署その他への届出手続き等

●2. 工事実績情報の登録

○3. 電気保安技術者

●4. 施工条件

●5. 発生材の処理等

○6. 機材の検査に伴う試験

●7. 技能士

●8. 施工の検査に伴う試験

○9. 化学物質の濃度測定

○10. 監督職員事務所の設置

●11. 足場

○12. 根切り工事

●13. 総合試運転調整

●14. 電源周波数

●15. 耐震措置

章

項目

特記事項

届出内容について、あらかじめ監督職員に報告する。
●給・排水設備の工事完了後の検査手数料
支払い方法（●受注者支払 ○発注者支払）

工事請負金額が税込500万円以上の受注者は、登録内容について、あらかじめ監督職員の確認を受けた後、次に示す期間内に登録機関へ登録申請を行う。ただし、期間には行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日は含まない。
（1）工事受注時 契約締結後10日以内
（2）登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内
（3）工事完成時 工事完成後10日以内

設置する。
冷凍機等の電動機及び制御・操作盤が付帯する機器の取付工事期間において、電気工作物の保安業務を行う。

適用	条件	内容
○	施工日は、休日のみ。	
○	施工日は、平日のみ。	
○	施工日は、（○月 ○火 ○水 ○木 ○金）曜日のみ。	
○	施工日は、（○月 ○火 ○水 ○木 ○金）曜日以外。	
●	午前10時までは、営業時間帯のため作業は行わないこと。（休場日を除く。）	※休場日は、日、水曜日

（1）発注者に引渡しを要するもの（○金属類 ○）
（2）産業廃棄物
●石綿含有産業廃棄物（●フラスコ用ガスケット（●配管 ○ガスケット） ●壁面塗料 ●天井材）
壁面塗料や天井材に石綿が含まれている（と見なす）場合は、集塵機付き工具を使用すること。また、穿孔部等は適切に養生を行うこと。
処理方法（●構外搬出適切処理 ○施設管理者に引渡し）
（3）特別管理産業廃棄物
○廃石綿等（○配管保温成形用パッド等 ○壁面塗料 ○天井材）
壁面塗料や天井材に石綿が含まれている（と見なす）場合は、集塵機付き工具を使用すること。また、穿孔部等は適切に養生を行うこと。
ガスケット類等
処理方法（○構外搬出適切処理 ○施設管理者に引渡し）
（4）特殊な建設副産物
●アスベスト（回収）
○臭化アルミニウム
処理方法（○構外搬出適切処理 ○施設管理者に引渡し）
（5）●建設発生土（●指定地処分 ○場内敷き均し）
場所：安八郡輪之内町塩喰字溝根（運搬距離：L=8km）

試験を指定された機材（○）

●配管施工 ○熱絶縁施工 ○冷凍・空調調和機器施工 ○建築板金施工

適用	対象設備	試験内容	試験圧力	保持時間	備考
●	冷媒配管	気密試験	製造者指定	24時間	
●	ドレン配管	通水試験	-	-	
○	冷温水配管	水圧試験	最小0.75MPa	最小30分	
○	冷却水配管	水圧試験	最小0.75MPa	最小30分	
●	給水給湯配管	水圧試験	最小0.75MPa	最小60分	
○	排水配管	満水試験	-	最小30分	満水継手（○有 ○無）
○	排水配管	通水試験	-	-	
●	消火配管	水圧試験	現場指示	最小60分	消防検査（●有 ○無）
○	消火配管	気密試験	現場指示	最小60分	消防検査（○有 ○無）
○	ガス配管	気密試験	現場指示	-	最高使用圧力以上
●	あと施工アーク	引張試験	耐震計算値	-	重量機器据付

建築物の室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定を実施する。
測定時期：○施工前 ○施工後
測定化学物質：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン
測定対象室・測定箇所数：図示

設置する。

外部工事用：●手すり先行足場 ○移動式足場 ○高所作業車
内部工事用：●移動式室内足場 ○可撤式作業台

深さ1.5m以上の根切り工事を行う場合で、危害防止上支障があるときは、山留め又は法付けを設ける。

下記項目の計画書及び測定報告書を提出する。
○風量調整
●水量調整
●（●室内 ○室外）空気（●温度 ○湿度）の測定
○室内気流及びじんあいの測定
○（○騒音 ○振動）の測定
○（○飲料水 ○雑用水）の水質の測定
●初期運転状態の記録

●60Hz ○50Hz

耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針2014年版による。
（1）機器の据付及び取付
施設分類：○特定の施設 ●一般の施設
機器分類：●重要機器（○熱源機器 ○空調機器 ○衛生機器 ●消火機器 ○イオン化）
○一般機器

設計用標準水平震度

部位	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	固定の機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	固定の機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	固定の機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

章

項目

特記事項

上層階の定義は、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
中間階の定義は、地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないものとする。（平屋建は、1階と屋上で構成され中間階はなし。）

機器・システム図及び重要な定期点検項目等を記載した案内板（○ガス・樹脂製 ○市販パネル）を設備機械室に設ける。ただし、案内板の大きさは、約 ㎡とする。

○給水管及び消火管の建築物導入部配管の変位吸収方法は、構造物耐震システム（積水化学工業㈱同等品以上）を採用する。
○溶接部の非破壊検査（箇所：）

●地中埋設標（箇所：図示による）
●埋設表示プレート（排水管を除く）

図面に特記なき弁の耐圧は、JIS又はJWK 10Kとする。

標準仕様書第2編3章1節によるほか次による。

管種	適用	施工箇所	外装材	保温材
給水管 補給水管	●	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂管カバー	●GW
	○	機械室、書庫、倉庫	7kシグラスガラス	○RW
	○	天井内、PS内、空隙壁中	7kシグラスガラス	○PF
	○	暗渠内（ビツ内を含む）	着色7kシグラスガラス	PF
	●	屋外露出、多湿箇所	○カラー亜鉛鉄板 ●ステンレス鋼板（2B仕上） ○溶融7kシグラス亜鉛鉄板	PF
排水 ドレン管	○	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂管カバー	○GW
	○	機械室、書庫、倉庫	7kシグラスガラス	○RW
	○	天井内、PS内、空隙壁中	7kシグラスガラス	○PF
	○	多湿箇所（厨房天井内を除く）	ステンレス鋼板（2B仕上）	PF
	○	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂管カバー	
給湯管	○	機械室、書庫、倉庫	7kシグラスガラス	
	○	天井内、PS内、空隙壁中	7kシグラスガラス	
	○	暗渠内（ビツ内を含む）	着色7kシグラスガラス	○GW
	○	屋外露出、多湿箇所	○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板（2B仕上） ○溶融7kシグラス亜鉛鉄板	○RW
	○	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂管カバー	GW
消火管	●	屋外露出	●カラー亜鉛鉄板 ●ステンレス鋼板（2B仕上） ○溶融7kシグラス亜鉛鉄板	PF
	○	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂管カバー	○GW
	○	機械室、書庫、倉庫	7kシグラスガラス	○RW
	○	天井内、PS内、空隙壁中	7kシグラスガラス	○PF
	○	暗渠内（ビツ内を含む）	着色7kシグラスガラス	PF
冷温水管 膨張管	○	屋外露出、多湿箇所	○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板（2B仕上） ○溶融7kシグラス亜鉛鉄板	PF
	○	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂管カバー	○GW
	○	機械室、書庫、倉庫	7kシグラスガラス	○RW
	○	天井内、PS内、空隙壁中	7kシグラスガラス	○PF
	○	暗渠内（ビツ内を含む）	着色7kシグラスガラス	○RW
温水管	○	屋外露出、多湿箇所	○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板（2B仕上） ○溶融7kシグラス亜鉛鉄板	PF
	○	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂管カバー	○GW
	○	機械室、書庫、倉庫	7kシグラスガラス	○RW
	○	天井内、PS内、空隙壁中	7kシグラスガラス	○PF
	○	暗渠内（ビツ内を含む）	着色7kシグラスガラス	○RW
冷温水タンク 冷温水ヘッド	○	屋外露出、多湿箇所	○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板（2B仕上） ○溶融7kシグラス亜鉛鉄板	PF
	○	上記以外	カラー亜鉛鉄板	○GW ○RW ○PF
	○	屋内露出、多湿箇所	○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板（2B仕上） ○溶融7kシグラス亜鉛鉄板	○GW ○RW
	○	上記以外	カラー亜鉛鉄板	○GW ○RW
	○	屋内露出（一般居室、廊下）	カラー亜鉛鉄板	○GW ○RW
長方形ダクト パイプダクト	○	機械室、書庫、倉庫	7kシグラスガラス	
	○	屋内隠ぺい、DS内	7kシグラスガラス	○GW ○RW
	○	屋外露出、多湿箇所	○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板（2B仕上） ○溶融7kシグラス亜鉛鉄板	
	○	消音内貼	ガラスウール・銅きつ甲金網 ガラスウール・7kシグラスガラス	○GW ○RW
	○	消音チャンバー 消音ダクト	ガラスウール	○GW ○RW

○多湿箇所は次による：
●冷媒管（冷媒用断熱材被覆鋼管）の外装施工は要領図による。
○外気取入れ用ダクト：全範囲
○排気用ダクト：外壁より1m以内の範囲

○保温無し屋内外露出の金属配管及び金属ダクト、金属電線管は塗装を行う。

機器、配管、ダクト、弁類等には、機器番号や系統、配管用途、弁開閉等の情報を示す文字標識等を設ける。

（1）配管工事に関しては、標準仕様書第2編2.6.1、2.6.3、標準図施工9～16による。
（2）ダクト工事に関しては、標準仕様書第3編2.2.2、2.2.3、2.2.4、標準図施工17による。
（3）上記振れ止め選定に関しては標準図施工18～20による。
（4）屋外露出、多湿箇所及び暗渠内の吊り及び支持金物、形鋼振れ止め類はすべてステンレス製とする。
（5）多湿箇所の指定は「20.保温」の当該項目による。
（6）アーク機械室内の吊り及び支持金物、形鋼振れ止め類は溶融亜鉛めっき塗装と装束とする。
（7）施設利用者及び維持管理者が手に触れることができる金物等の端部には、危険防止措置としてゴムキャップ等を取り付けること。
（8）建物に掛かる土間配管はスラブより支持を行い、支持金物はステンレス製とする。

既設のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダクト付メソッドによる。
穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋探査を行う。

建築基準法施工令第129条の2の4による。
給水管、配電管その他の管が準耐火構造の防火区画を貫通する場合は令112条第20項による。
換気、暖房又は冷房の設備の風道が準耐火構造の防火区画を貫通する場合は令112条第21項による。

章

項目

特記事項

○26. 工事区分

●27. 電線類

○28. 上水道取出口工事

○29. 下水道取出口工事

●30. 埋設配管の位置

●31. 環境配慮工事

○32. 経年調査と実施

●33. 関連工事と敷地内同時期工事

●空気調和設備

○1. 設計用温湿度

●2. 機械基礎(架台)

○3. 鋼板製煙道

○4. ダクト

○5. チャンバー

○6. ダクト

○7. 風量測定口

●8. 配管材料

○21. 塗装

●22. 文字標識等

●23. 支持金物類

●24. はつり

●25. 配管設備の設置及び構造

図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

（1）電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
（2）電線及びケーブルは、EM電線及びEMケーブルを使用する。（機器、壁類を除いてもよい）

○本工事 ○別途工事

○本工事 ○別途工事

屋外埋設給水管は、位置把握のため基準点からのワザを記録し、完成時に提出すること。

○本工事は、工事範囲の既設建材にアスベスト含有がないことが明らかであるため、大気汚染防止法に基づく事前調査は、対象外とする。

受注者は、大気汚染防止法・同施行令・同施行規則、労働安全衛生法・同施行令、労働安全規則、石綿障害予防規則及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律・同施行令・同施行規則等を遵守し、万全な安全・衛生体制を確保し、施工すること。
（1）事前調査
●書面調査
●目視調査（建築物の着工日が平成18年9月1日以降である場合を除く）
○分析調査（書面調査及び目視調査により石綿含有の有無が把握できない場合）
○調査結果確認（令和年月調査）
○石綿含有建材【 】
●石綿含有みなし建材【 配管フラスコ用ガスケット、壁面塗料、天井材 】
石綿含有みなし建材として積算している建材については、分析調査の結果により石綿の含有が認められない場合は、契約金額の減額対象とする。
（2）事前調査資格者（令和5年10月1日以降義務付け）
調査者は以下のいずれかの資格を有する者とする。
①特定建築物石綿含有建材調査者
②一般建築物石綿含有建材調査者
③令和5年9月までに日本アスベスト調査診断協会に登録された者
④一戸建て等石綿含有建材調査者（一戸建て住宅や共同住宅の住戸の内部のみ調査可能）
ただし、石綿含有建材の種類が多岐に亘るような大規模建築物又は改修等を繰り返しており石綿含有建材の特定が難しい建築物については、特定建築物石綿含有建材調査者又は一定の実地経験を積んだ一般建築物石綿含有建材調査者が事前調査を行うこと。
（3）事前調査報告
岐阜県知事及び所轄労働基準監督署長へ報告を行うこと。
（4）特定粉じん排出等作業にかかるとの指示
本工事が大気汚染防止法に規定する特定工事に該当するか否かについて、297mm×420mm以上の掲示板にて工事表示板と併せて掲示し、特定建築材料に関する事前調査結果等を記載すること。

工事引渡後、受注者は自ら企画して発注者及び監督員の立会いを求め、工事全般について瑕疵及び損耗に関する調査を、それぞれ引渡日から起算して（○1年目 ○2年目）に行う。調査の結果、工事目的物に瑕疵が認められた場合は、受注者は監督員と協議の上、速やかに工事請負契約に基づいて適切な対応を行う。調査に必要な費用は全て受注者の負担とする。調査立会い者は、発注者、監督員、受注者とする。

施工上密接に関連する工事または敷地内同時期工事がある場合は、発注者の調整に従い、第三者の行う工事の円滑な施工に協力すること。

（1）関連工事（●建築工事 ●電気工事 ○土木工事）
（2）敷地内同時期工事

	外気	屋内（調整目標）							
		一般系統							
		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	36.1℃	%	26.0℃	%	50%	℃	%	℃	%
冬期	0.1℃	%	22.0℃	%	50%	℃	%	℃	%

基礎仕様： ●コンクリート製品 ○コンクリート製（○本工事 ○建築工事 ○既設再利用）
架台仕様： ○既製架台（○壁掛用 ○吊吊用 ○床置用） ○防振架台
（○ステンレス製 ○溶融亜鉛めっき）
○製作架台（○本工事 ○建築工事）

○伸縮継手 ○掃除口 ○ばいじん量測定口（直径80mm 以上） ○ばい煙濃度計取付座

○低圧ダクト ○長方形ダクト
○コーナー工事（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
○アングル・フランジ工法
○円形ダクト
○パイプダクト
○ダクト製ダクト
○高圧ダクト（範囲は図示による）

（1）消音内貼を施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）空気調和機に取り付けるダクトチャンバー、レクランパー及びダクト系で消音内貼したチャンバーには点検口を設置し、寸法は図示による。
（3）外壁に面するダクトに直接取り付けけるチャンバー及びレクランパーは雨水の滞留のないよう施工する。

○風量調整ダクト（VD） ○防火ダクト（FD） ○逆流防止ダクト（CD）
○防煙ダクト（SD） ○防火防煙ダクト（SFD）

取付位置は図示による。

（1）冷温水管
○配管用炭素鋼管（白）
○空調配管用高性能樹脂管（SUS 304）
○一般配管用ステンレス鋼管（SUS 304）
継手仕様（○ダクト用は ○拡管式）
○架橋樹脂管（25A以下）
○金属強化樹脂管（50A以下）

（2）冷却水管
○配管用炭素鋼管（白）
○一般配管用ステンレス鋼管（SUS 304）
継手仕様（○ダクト用は ○拡管式）
○空調配管用高性能樹脂管（SUS 304 TP-A）
○配管用ステンレス鋼管（溶接管）（SUS 304 TP-A）

（3）空調用排水管
○配管用炭素鋼管（白）

（4）冷媒管
●冷媒用断熱材被覆鋼管（難燃性）

設計年度

令和7年

大垣市都市計画部建築課

ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL

公設地方卸売市場 給水設備改修ほか（衛生）工事

図名

特記仕様書（1）

縮尺

S=FREE

図番

MS01/14

項目		特記事項		項目		特記事項		項目		特記事項		項目		特記事項	
○ 9. 弁類	(5) ドrain用排水管	●硬質PVC強化ビニール管 ○排水・通気用耐火二層管 (内管:VP) ●耐熱性硬質PVC強化ビニール管 (外管:VP) ○結露防止層付硬質強化ビニール管	○換気設備	○ 1. 給排水	○低圧給排水 ○長方形給排水 ○コンクリート工法 (厨房排気以外で、長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アクリル樹脂工法 ○円形給排水 ○スチール製給排水 ○鋼製給排水	● 2. 量水器	○公設メーター (貸与品) ●私設メーター (買取品) 量水器 (BOX共) 、パイプユニット、ボールバルブ弁等の仕様は、大垣市水道課指定品とする。 量水器ボックスは、小窓付とする。	○ ガス設備	○ 1. ガス種別	○都市ガス (供給者名: 発熱量 MJ/m ³) ○液化石油ガス	○ 2. 配管材料	(1) 都市ガス ガス事業者の規定に合格又は使用を承認したものとする。 (2) 液化石油ガス 埋設: ○ガス用ポリエチレン管 ○硬質強化ビニール外面被覆鋼管 (内管: 白管) 一般: ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○硬質強化ビニール外面被覆鋼管 (内管: 白管) 天井内: ○配管用炭素鋼鋼管 (白)			
	(6) 加圧用給水管、 補給用水給水管	○水道用硬質強化ビニール鋼管 (SGP-VB) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304)		○ 2. 風量測定口	(2) 呼び径50以下 ●仕切弁 (GV) : ●青銅製 ○一般配管用スチール鋼製 ●埋設用仕切弁 (GV) : ●青銅製 ○一般配管用スチール鋼製 ○玉形弁 (SV) : ○青銅製 ○一般配管用スチール鋼製 ○逆止弁 (CV) : ○青銅製 ○一般配管用スチール鋼製 ○衝撃吸収式逆止弁 (CV) : ○青銅製 ○一般配管用スチール鋼製 ○ボール弁 (BAV) : ○青銅製 ○一般配管用スチール鋼製		(2) 呼び径65以上 ●仕切弁 (GV) : ●ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング) ○一般配管用スチール鋼製 ●埋設用仕切弁 (GV) : ●ブロンズ仕切弁 ○玉形弁 (SV) : ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング) ○一般配管用スチール鋼製 ○逆止弁 (CV) : ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング) ○一般配管用スチール鋼製 ●衝撃吸収式逆止弁 (CV) : ●ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング) ○一般配管用スチール鋼製		○ 3. 充填容器	供給業者の支給品 (○50kg x 本 ○パイプ容器 980mm x 基)					
○ 10. 一般用弁	(7) 蒸気給気管	○配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40	○ 3. 給排水	○ 3. 給排水	○風量調整バルブ (VD) ○防火バルブ (FD) ○逆流防止バルブ (CD) ○防煙バルブ (SD) ○防火防煙バルブ (SFD)	● 3. 一般用弁	(2) 呼び径50以上 ●パイプ弁 (BV) : ●7分製7分式 ○一般配管用スチール鋼製 ボール材質: ○EPDM ●耐塩素EPDM ○FKM	○ さく井設備	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 2. ケーシング材料	○硬質強化ビニール管 (VP) ○一般配管用スチール鋼管 (SUS 304 TPD) ○配管用炭素鋼鋼管 (黒) 図示による。			
	(8) 蒸気還管	○圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304)		○ 4. 排気バルブのシール	○厨房系統 ○浴室系統 (シャワー室、脱衣室を含む)		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 3. スクリン位置	標準仕様書第7編2.2.11によるほか、図示による。					
○ 11. 特殊用弁	(9) 高温水管	○圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch40 ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (黒) Sch80	○ 5. 特殊用弁	○ 5. 特殊用弁	空気調和設備の当該項目による。	● 4. 特殊用弁	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 5. 水質試験	○ 2. ケーシング材料	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 6. 報告書	○ 5. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(10) 油管	○配管用炭素鋼鋼管 (黒)		○ 6. 給排水	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 6. 報告書	○ 5. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 12. 継手類	(11) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 7. 特殊用弁	○ 7. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 5. 継手類	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 7. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 8. 報告書	○ 7. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(12) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 8. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 8. 報告書	○ 7. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 13. 特殊用弁	(13) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 9. 特殊用弁	○ 9. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 9. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 10. 報告書	○ 9. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(14) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 10. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 10. 報告書	○ 9. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 14. 継手類	(15) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 11. 特殊用弁	○ 11. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 11. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 12. 報告書	○ 11. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(16) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 12. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 12. 報告書	○ 11. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 15. 特殊用弁	(17) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 13. 特殊用弁	○ 13. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 13. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 14. 報告書	○ 13. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(18) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 14. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 14. 報告書	○ 13. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 16. 特殊用弁	(19) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 15. 特殊用弁	○ 15. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 15. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 16. 報告書	○ 15. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(20) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 16. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 16. 報告書	○ 15. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 17. 特殊用弁	(21) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 17. 特殊用弁	○ 17. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 17. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 18. 報告書	○ 17. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(22) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 18. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 18. 報告書	○ 17. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 18. 特殊用弁	(23) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 19. 特殊用弁	○ 19. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 19. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 19. 報告書	○ 19. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(24) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 20. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 19. 報告書	○ 19. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 19. 特殊用弁	(25) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 21. 特殊用弁	○ 21. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 21. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 20. 報告書	○ 21. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(26) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 22. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 20. 報告書	○ 21. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 20. 特殊用弁	(27) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 23. 特殊用弁	○ 23. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 23. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 21. 報告書	○ 23. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(28) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 24. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 21. 報告書	○ 23. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 21. 特殊用弁	(29) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 25. 特殊用弁	○ 25. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 25. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 22. 報告書	○ 25. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(30) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 26. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 22. 報告書	○ 25. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 22. 特殊用弁	(31) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 27. 特殊用弁	○ 27. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 27. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 23. 報告書	○ 27. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(32) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 28. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 23. 報告書	○ 27. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 23. 特殊用弁	(33) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 29. 特殊用弁	○ 29. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 29. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 24. 報告書	○ 29. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(34) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 30. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 24. 報告書	○ 29. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 24. 特殊用弁	(35) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 31. 特殊用弁	○ 31. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 31. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 25. 報告書	○ 31. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(36) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 32. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 25. 報告書	○ 31. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 25. 特殊用弁	(37) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 33. 特殊用弁	○ 33. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 33. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 26. 報告書	○ 33. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(38) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 34. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 26. 報告書	○ 33. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 26. 特殊用弁	(39) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 35. 特殊用弁	○ 35. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。	● 6. 管の埋設深さ	○減圧弁: 呼び径100以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) 呼び径125以上は (○青銅製 ○ねずみ鋳鉄製 (●ナロイニング))	○ 35. 特殊用弁	○ 1. 掘きく工法	○パイプカッター式 ○ロータリー式 ○ダクタイル鉄パイプ式	○ 27. 報告書	○ 35. 水質試験	標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)		
	(40) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)		○ 36. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。		○電動弁: 呼び径50以下は (○青銅製 ○スチール鋼製) など玉形ボール弁 呼び径65以上は (○7分製 ○ねずみ鋳鉄製 ○スチール鋼製) フランジ形パイプ弁		○ 27. 報告書	○ 35. 水質試験		標準仕様書第7編2.2.21による。(51項目)			
○ 27. 特殊用弁	(41) 膨張管、空気抜き管及び膨張バルブより等への補給水管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○一般配管用スチール鋼鋼管 (SUS 304) 継手仕様 (○ダクタイル ○拡張管)	○ 37. 特殊用弁	○ 37. 特殊用弁	給気バルブは、給排水バルブは防虫網付 (10mm) とし、防火バルブ付は図示による。 ○深形バルブ、○丸形バルブ、○ウェルキャップ: ○スチール製 ○7分製 ○指定色焼付塗装とする。</										

既設機器表(衛生設備)									
記 号	名 称	機 器 仕 様	設 置 階	台 数	電気特性			設置場所	備考
					電源	出力	極数		
					相・電圧	kW	P		
KPU-1	深井戸水中ポンプ	形 式：ステンス鋳物製	1F	1	3φ200V	30	2	1号井戸小屋	※撤去の際の揚重機を見込む。
※撤去		能 力：150[Φ]×2,300[L/min]×36[m]（揚水管30m）							
		付 属 品：水中ケーブルφ35m、井戸ワ、屋外壁掛制御盤、標準付属品一式							
KPW-1	揚水ポンプ	形 式：多段渦巻ポンプ	1F	2	3φ200V	18.5	8	受水槽	
※撤去		能 力：100[φ]×1,250[L/min]×50[m]							
		付 属 品：仕切弁、逆止弁（衝撃吸収型）、呼水じょうご、フット弁							
KCL-1	塩素減菌器	形 式：電磁駆動定量注入ポンプ	1F	1	1φ100V			受水槽	
※撤去		能 力：8[CC/min]×10[kg/cm ²]×15[W]、無電圧接点ハズ信号							
		容 量：100[L]、0.5[m]×0.5[m]×0.5[m]							
		付 属 品：薬液用貯蔵タンク（硬質塩化ビニール製）							

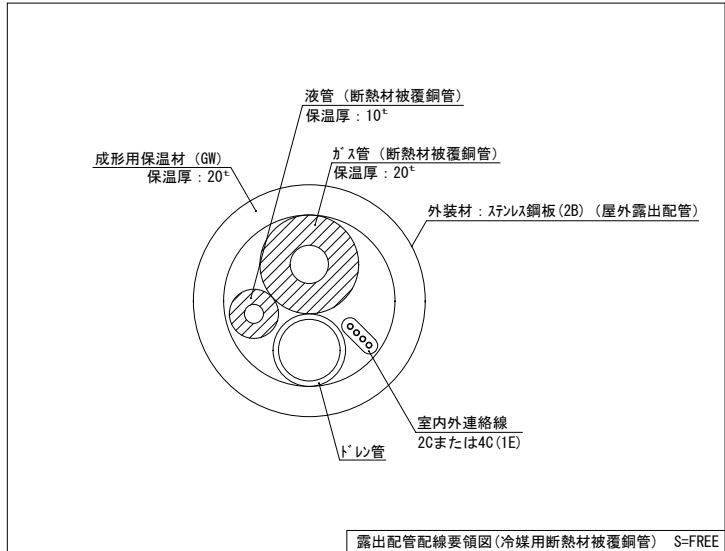
既設機器表(冷蔵設備)										
記 号	名 称	機 器 仕 様	設 置 階	台 数	電気特性				非常電源	備 考
					電源	出力		消費電力 (冷房/暖房)		
						圧縮機	送風機			
KPAC-1	水冷式冷凍機	形 式：天吊形	1F	1	3φ200V					外付冷凍機：SHCW-800
※撤去		能 力：7,240[Kcal/h] (-25℃)～17,200[Kcal/h] (-5℃)								
		冷 媒：R-22								
		冷却水量：73.0[L/min]								
		送 風 量： — [CMH]								
		総 質 量：230[kg]								

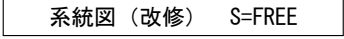
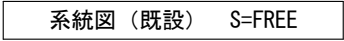
新設機器表 (冷蔵設備)																																		
記 号	名 称	系 統 名 (設置場所)	形 式	設 置 階	台 数	据付方式	室 外 機								設 置 階	台 数	冷房能力	暖房能力	室 内 機										防振装置 (室外機/室内機)	起動方法	非常電源	その他付属品		
							冷却能力	暖房能力	電 気 特 性			ガ ス 消 費 量		電 源					電 気 特 性			加 湿 器			外 気 量	M：中性能 L：ロングライフ N：標準	ドレン アップ	G：ゴム S：スプリング P：ゴムパケット						
									相・電圧	出 力		消費電力 (冷房/暖房)	冷房時						暖房時	電 源	送 風 機		消費電力 (冷房/暖房)	形 式									有効 加湿量	
										圧縮機	送風機										送風量	機外静圧												出力
PAC-1	冷蔵ユニット 中温用	冷蔵庫上	天吊形	1F	1	既製品コンクリート (L1000)	10.0	—	3φ200V	3.0	0.154	5.20/—	—	—	1F	1	9.5	—	—	—	3120	—	0.05×2	0.25	—	—	N	—	P/G	個別	○	ワイヤードリコン(1)、コントローラー (1) 参考品番：日立 (KU-T4MHV-B)		

既設機器表 (空 気 調 節 設 備)										
記 号	名 称	機 器 仕 様	設 置 階	台 数	電 気 特 性				非常電源	備 考
					電 源	出 力		消費電力 (冷房/暖房)		
						圧縮機	送風機			
					相・電圧	kW	kW	kW		
KACP-2	水冷式ヒートポンプ	形 式：床置型	3F	1	3φ200V	5.5	0.4	8.01/8.53		東芝：RPW-J2509H-B
※撤去	個別パッケージ形空調和機	冷房能力：25.0[kW]								
		暖房能力：25.0[kW]								
		冷 媒：R-22[4.8kg]								
		総 質 量：275[kg]								
KACP-3	水冷式ヒートポンプ	形 式：床置型	3F	1	3φ200V	3.75	0.4	3.92/4.87		ダイキン：UH5J
※撤去	個別パッケージ形空調和機	冷房能力：12500[Kcal/h]								
		暖房能力：14000[Kcal/h]								
		冷 媒：R-22[3.2kg]								
		総 質 量：230[kg]								
KACP-4	水冷式ヒートポンプ	形 式：床置型	3F	3	3φ200V	-	-	-		東芝：RAP-15YH
※撤去	個別パッケージ形空調和機	冷房能力：4500[Kcal/h]								
		暖房能力：5400[Kcal/h]								
		冷 媒：R-22[0.95kg]								
		総 質 量：120[kg]								

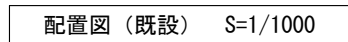
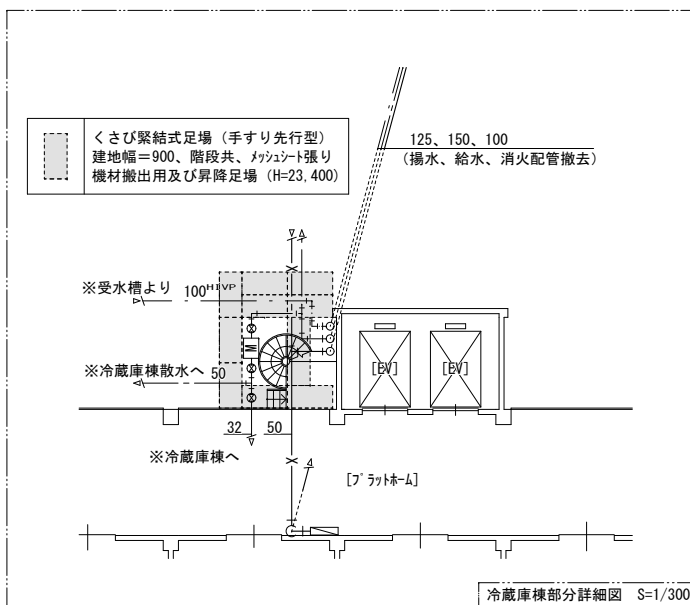
新設機器表 (空調設備)																																
記 号	名 称	系 統 名 (設置場所)	形 式	室 外 機										室 内 機													防振装置 (室外機/室内機)	起動方法	非常電源	その他付属品		
				設置 階	台 数	据付方式	冷却能力	暖房能力	電気特性			ガス消費量		設置 階	台 数	冷房能力	暖房能力	電気特性			加湿器		外気量	M：中性能 L：ロングライフ N：標準	ドレン アップ							
									電源	出力		消費電力 (冷房/暖房)	冷房時					暖房時	電源	送風機		消費電力 (冷房/暖房)				形式					有効 加湿量	
										圧縮機	送風機									送風量	機外静圧											出力
PAC-2	空気熱源ヒートポンプ	事務所	天吊形	3F	2	既製品コンクリート	25.0	28.0	3φ200V	2.45	0.227×2	9.80/8.60	—	—	3F	4	12.5	14.0	3φ200V	—	—	0.15×2	—	—	—	N	○	P/G	個別	○	ワイヤードリコン(2)	
	個別パッケージ形空調和機		(同時2台)			(L1000)													—													

新設機器表(衛生設備)									
記 号	名 称	機 器 仕 様	設 置 階	台 数	電気特性			設置場所	備考
					電源	出力	極数		
					相・電圧	kW	P		
PU-1	深井戸水中ポンプ	形 式：ステンス鋳物製	1F	1	3φ200V	30	2	1号井戸小屋	※新設の際の揚重機を見込む。
		能 力：150[Φ]×2,300[L/min]×36[m]（揚水管30m）							
		付 属 品：水中ケーブルφ35m、井戸ワ、屋外壁掛制御盤、標準付属品一式							
PW-1	加圧給水ポンプユニット	形 式：自動交互並列運転、ステンス製	1F	1	3φ200V	2.2×2	4	ポンプ小屋	
		能 力：40×50[φ]×230[L/min]×30[m]							
		付 属 品：制御盤、流量センサー、圧力発信器、標準付属品一式							
CL-1	塩素減菌器	形 式：電磁駆動定量注入ポンプ	1F	1	1φ100V			受水槽 (ポンプ室)	
		能 力：0.32[ml/min]×1.0[MPa]×15[W]、無電圧接点ハズ信号							
		容 量：30[L]							
		付 属 品：薬液用貯蔵タンク（硬質塩化ビニール製）、脱泡機能 ハズ発信式流量計100[φ]							
TF-1	消火用充水槽	形 式：ステンス鋼板製ハズ 液相部SUS444 K _{HT} :1.5	3F	1	—			卸売市場棟	
		水 槽：0.5[m]×1.0[m]×1.0[m]							
		容 量：0.5（有効0.2以上）[m ³]							
		鋼製架台：0.5[m]×1.0[m]×0.9[H] 外タラップ、マンホール×1箇所							
		通気口（50A、防虫網付）							

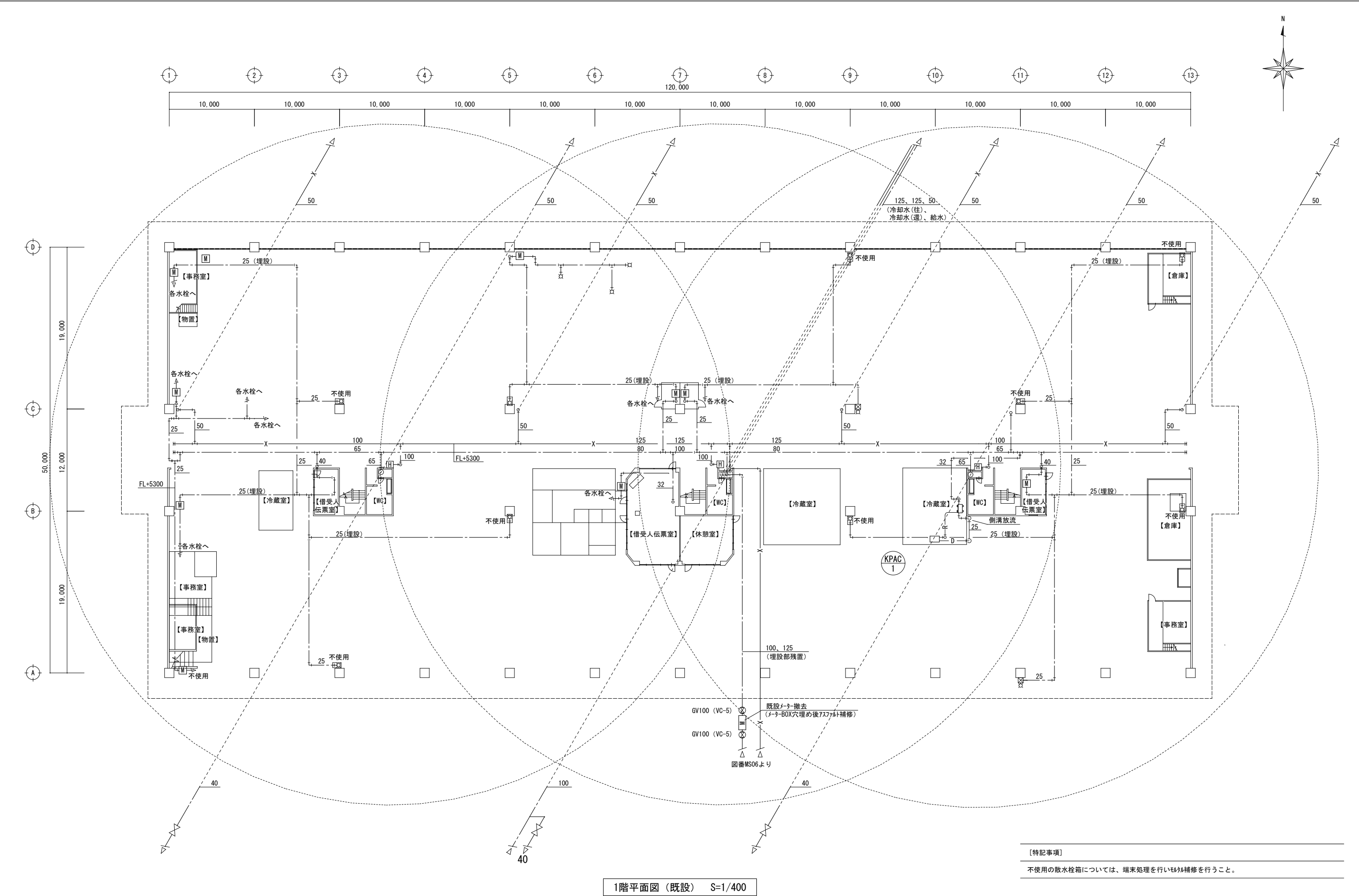




〈凡例〉			
	屋内消火栓 (1号)		水栓柱
	屋外消火栓 (1号)		埋設表示標
	消火用充水槽		給水配管
	配管端末処理		湯水配管
	27抜き		消火配管
	散水栓		

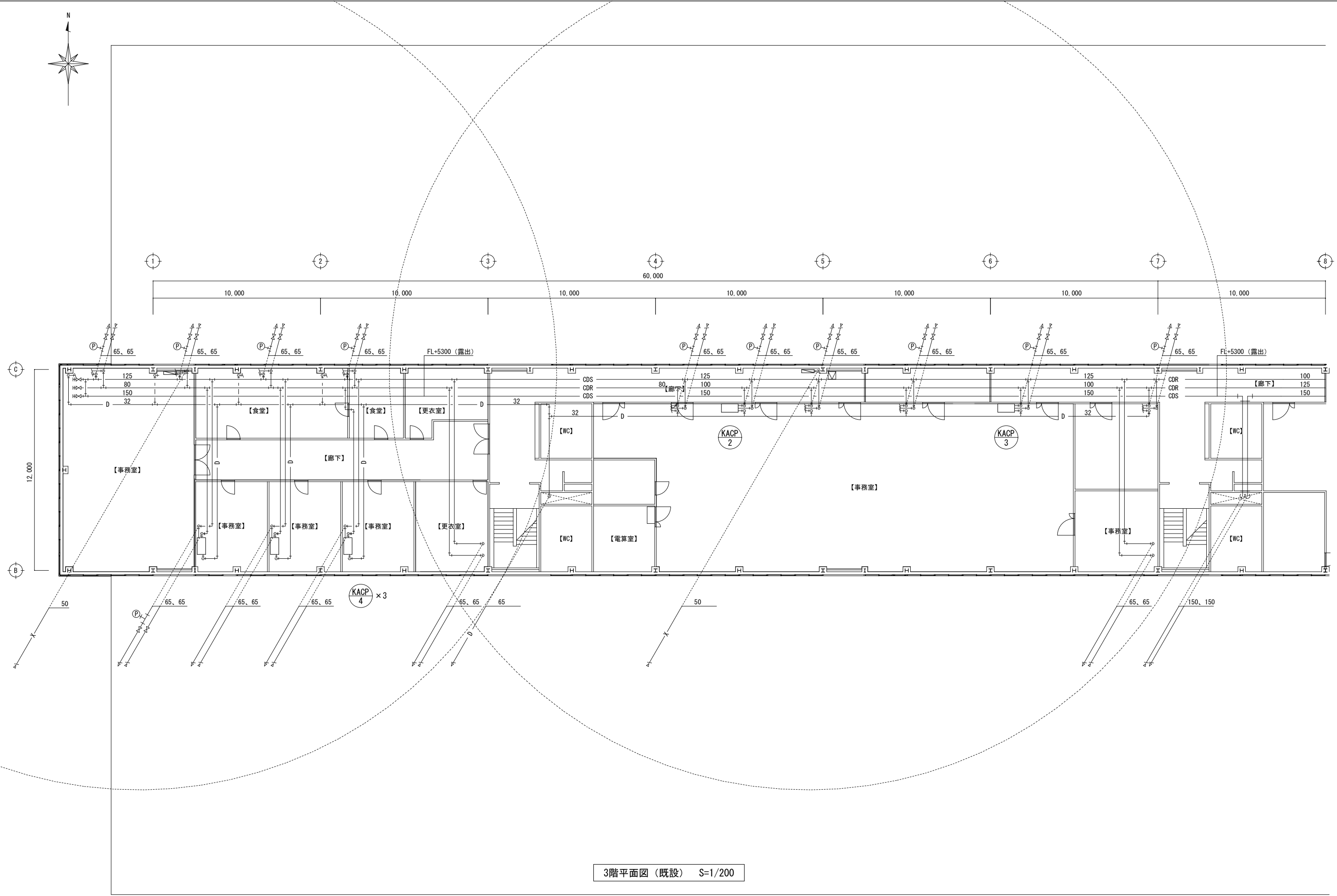


図番
MS06/14

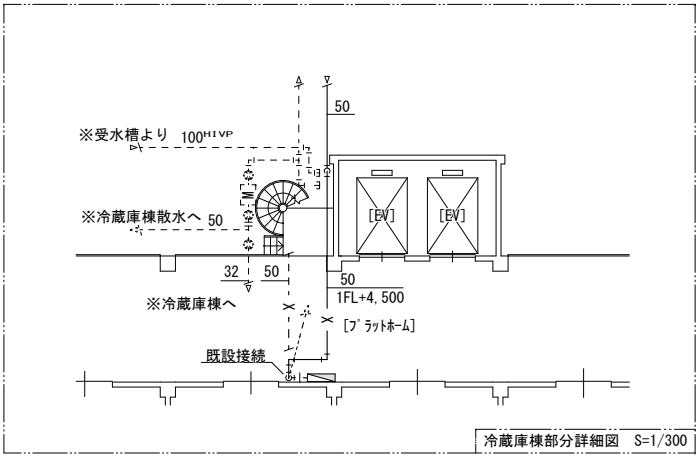
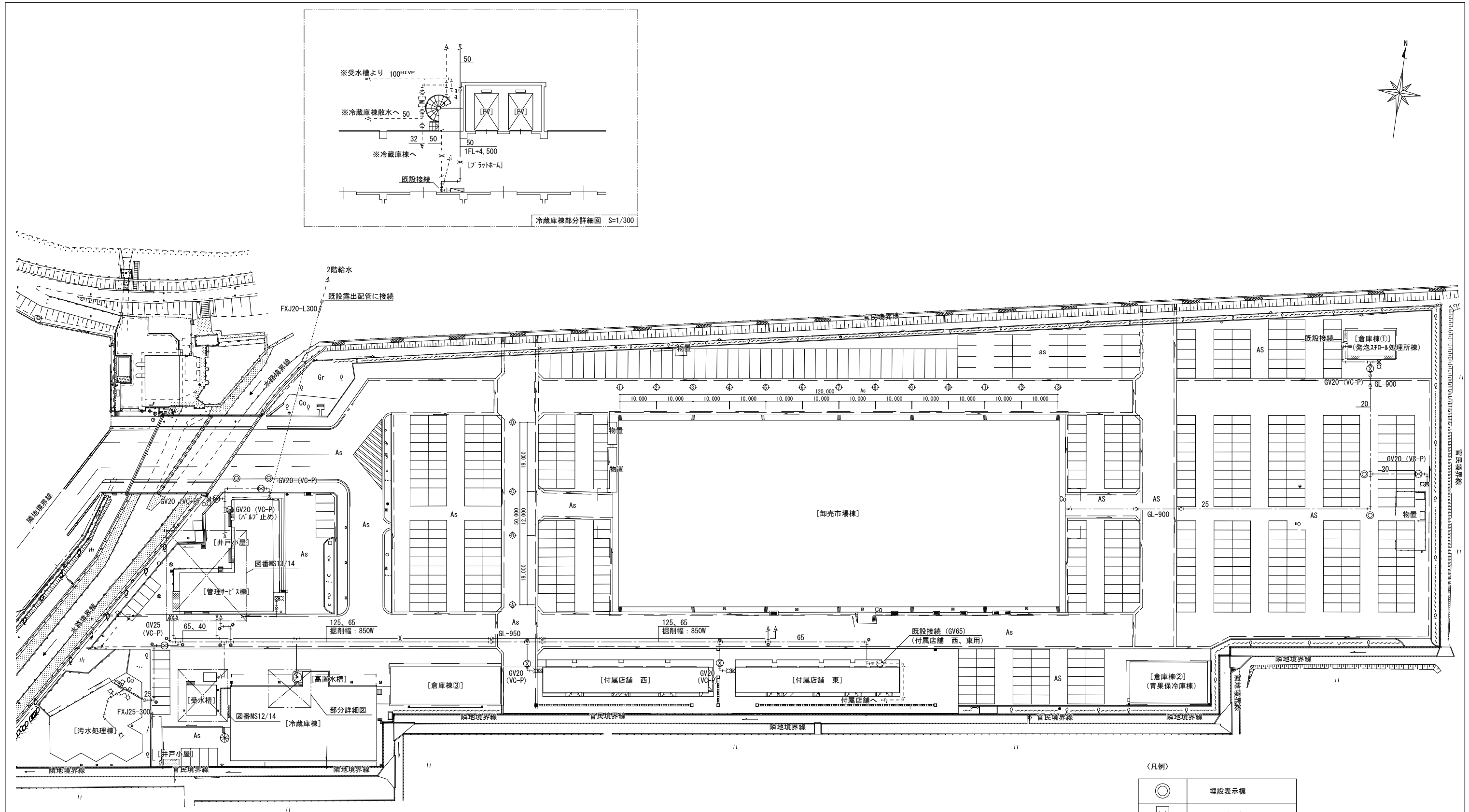


【特記事項】
不使用の散水栓箱については、端末処理を行い、かつ補修を行うこと。

大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	設計年度	公設地方卸売市場 給水設備改修ほか（衛生）工事	図 名	縮 尺	図 番
	令和7年				
			1階平面図（既設）	S=1/400	MS07/14



大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	設計年度	公設地方卸売市場 給水設備改修ほか（衛生）工事	図 名		縮 尺	図 番
	令和7年		3階平面図（既設）		S=1/200	MS08/14



名 称	仕 様	備 考 (数量)
水栓柱	ステン製、H=1200、横水栓 (ホース接続式) 参考品番：6161B-20×1200 (ｶｯﾀﾞｲ)、T28AUNH13 (TOTO)	卸売市場棟 (2)、場内各所 (6) 污水处理場 (1)
単水栓	横水栓 (吐出口回転式) 参考品番：T200SNR13C (TOTO)	污水处理場 (2)、ｶﾞﾝﾌﾞ小屋 (1) 井戸小屋 (1)

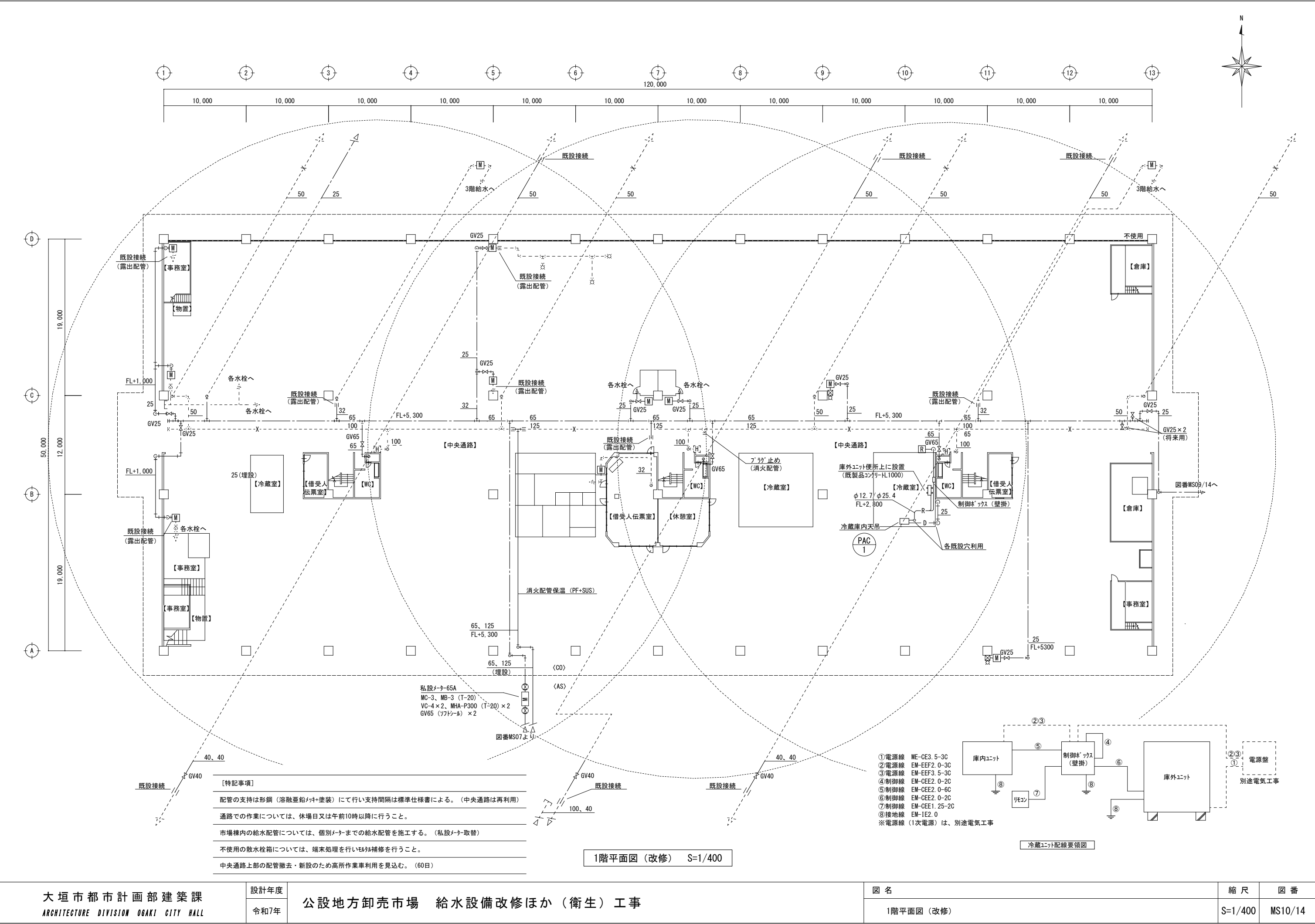
〈凡例〉	
	埋設表示標
	屋外消火栓 (1号)
	水栓柱 (ステン製)
	配管端末処理

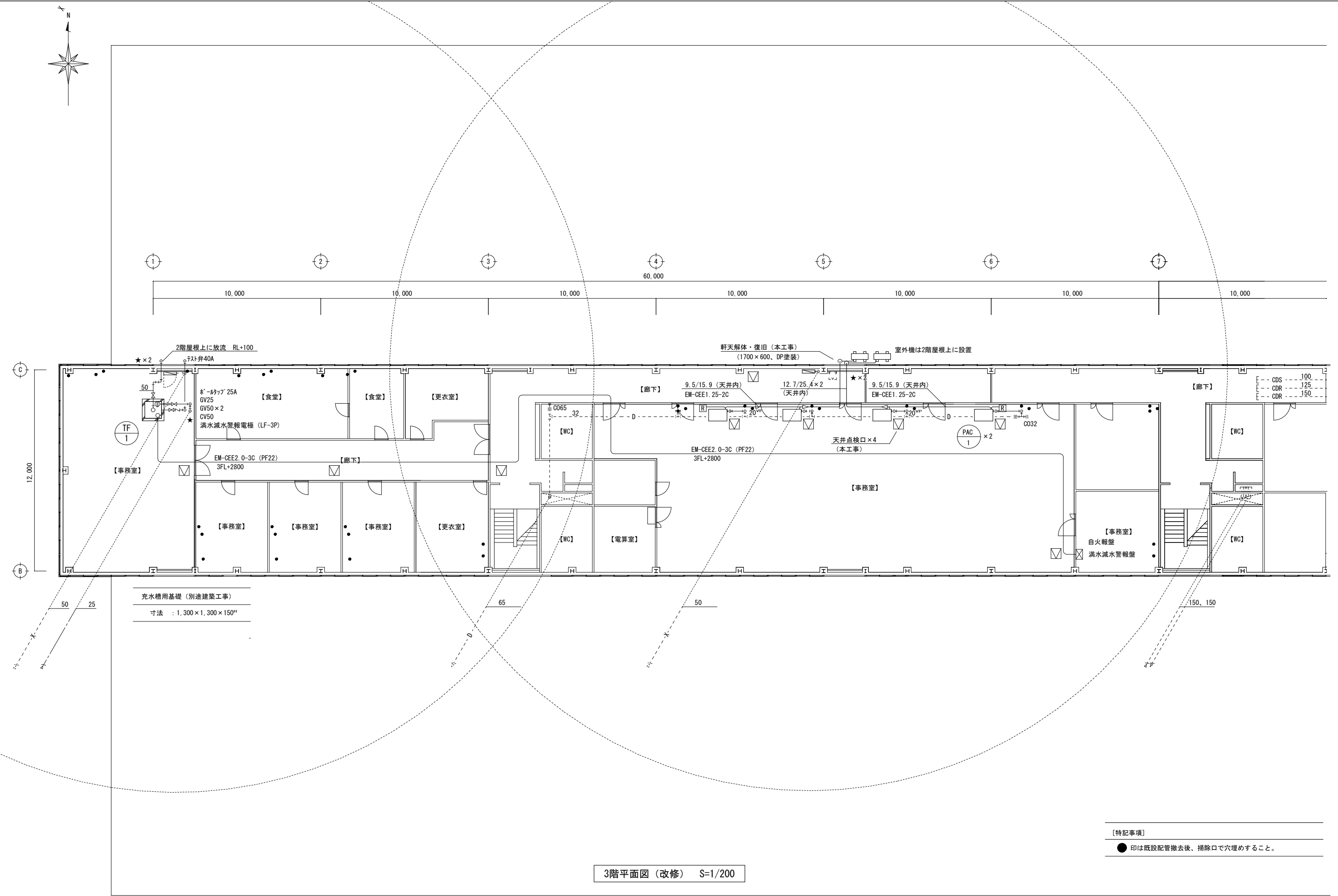
〔特記事項〕

特記なき埋設配管の掘削幅は600、深さ600とする。

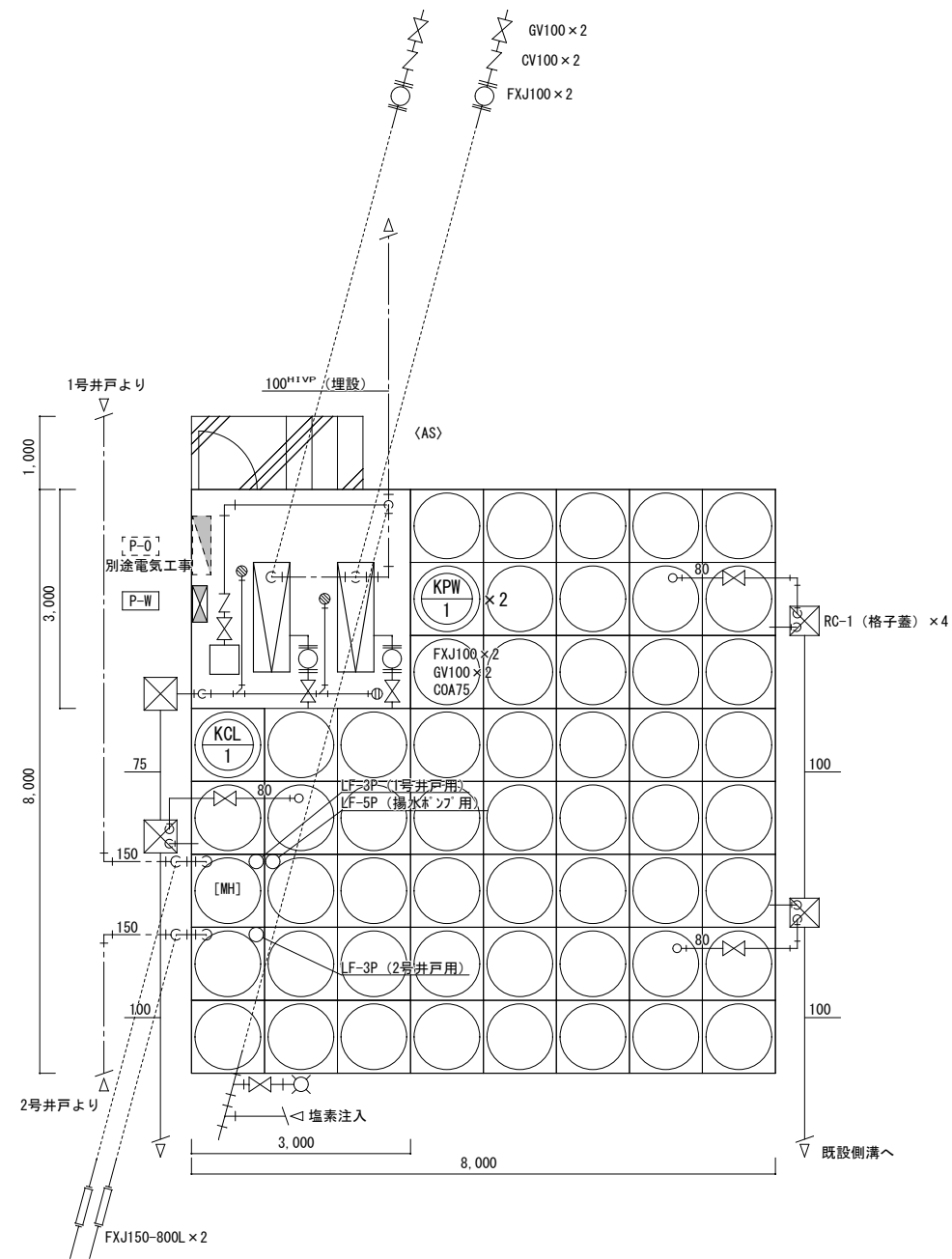
掘削路のAS舗装解体復旧 (約500㎡) は本工事 (ｶｯﾀｰ入れ共) とし、復旧仕様は密粒度7ｺﾝ (A-10-15) とする。

配置図 (改修) S=1/1000

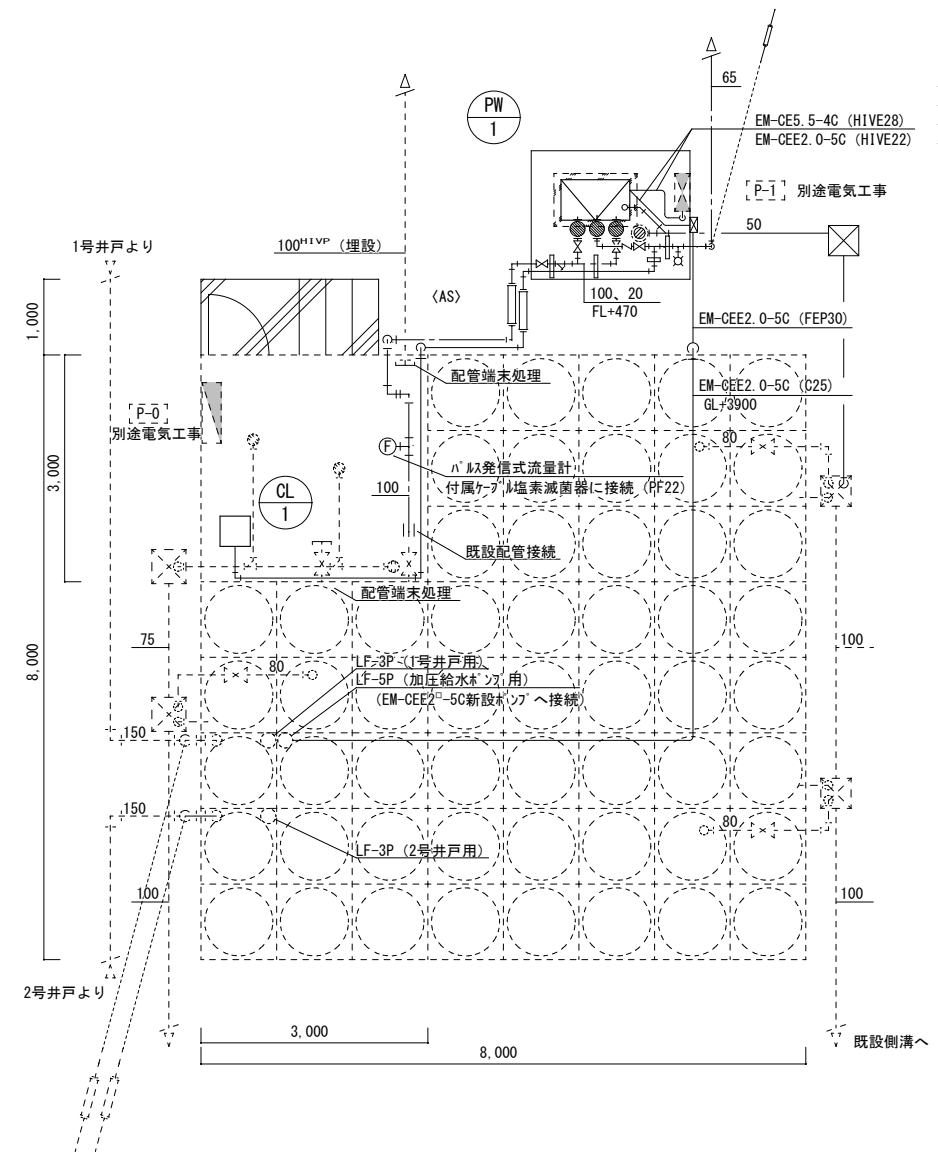




大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	設計年度	公設地方卸売市場 給水設備改修ほか（衛生）工事	図 名		縮 尺	図 番
	令和7年		3階平面図（改修）		S=1/200	MS11/14



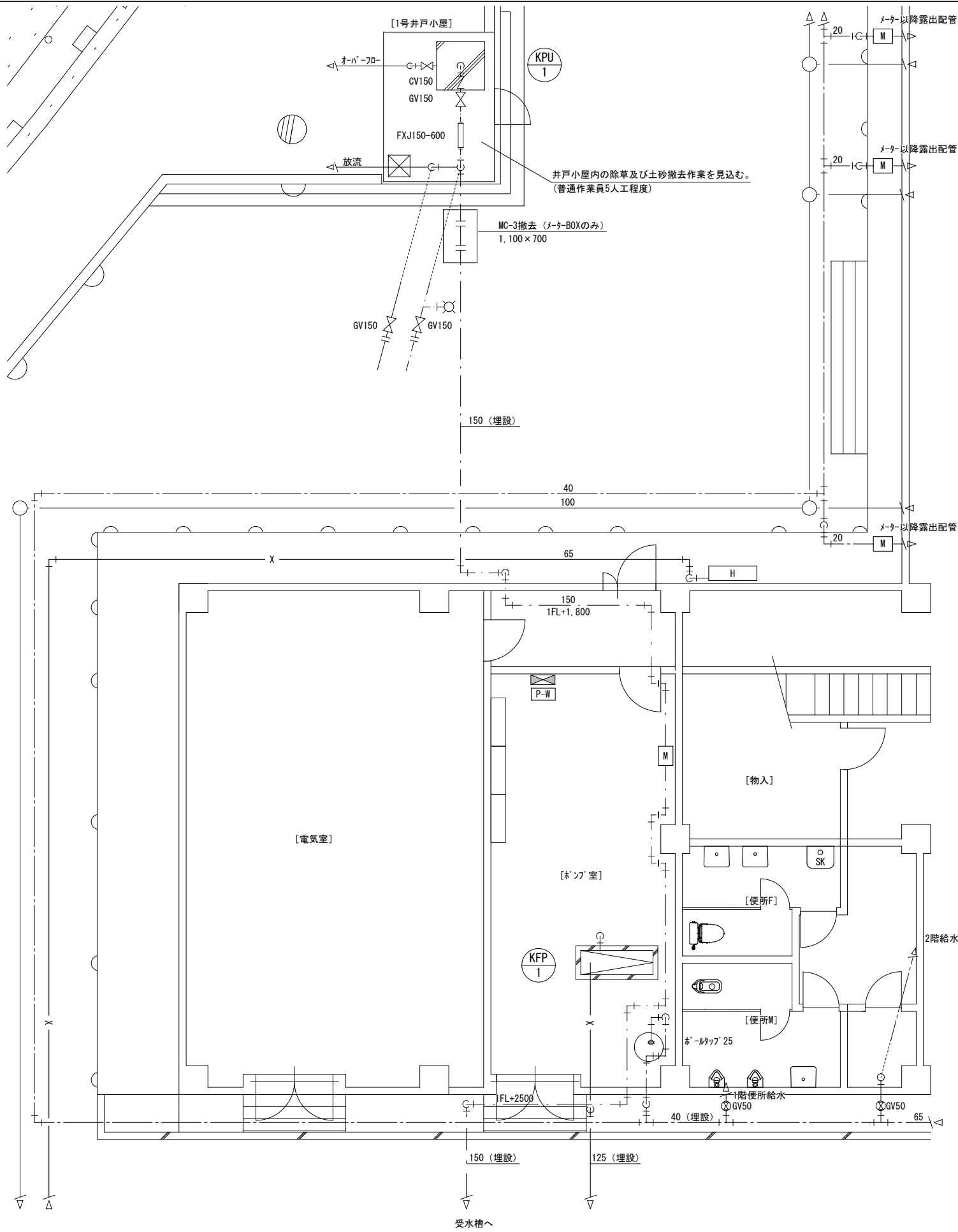
受水槽周り平面図（既設） S=1/100



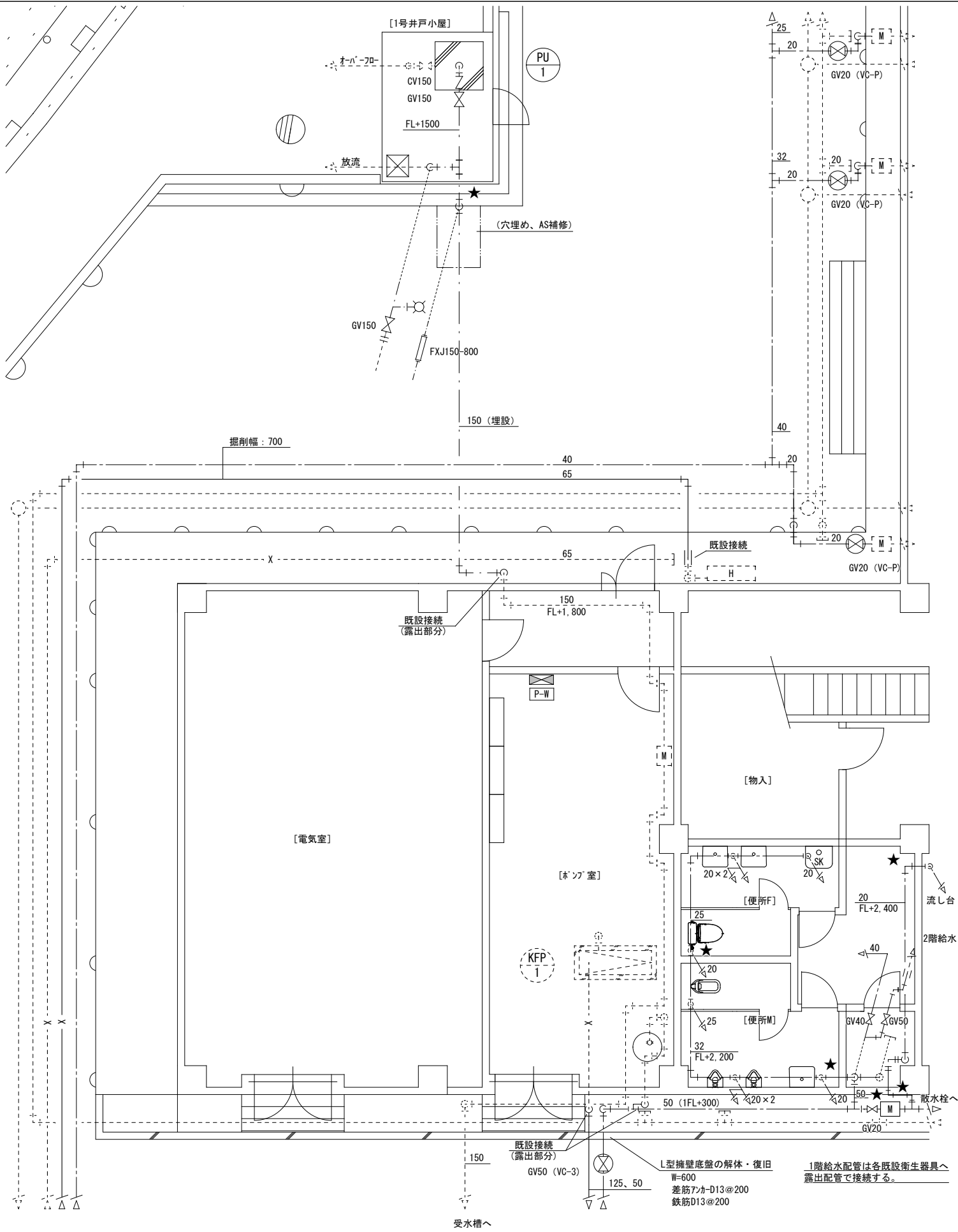
受水槽周り平面図（改修） S=1/100

別途建築工事
ポンプ小屋
ポンプ基礎（1100×700×300φ）

- VB100×3
- VB65×1
- CV65×1
- FJ100×2
- FJ65×1
- FXJ100-800L×1
- FXJ65-500L×1
- FXJ20-300L×1
- YST100×1
- C50
- RC-1（格子蓋）
- PB100φ×100（SUS）



管理サービス棟平面図（既設） S=1/100 ※井戸小屋に架かる樹木1本の枝払いを見込む。

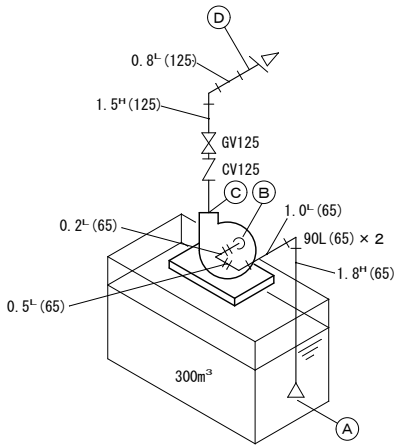
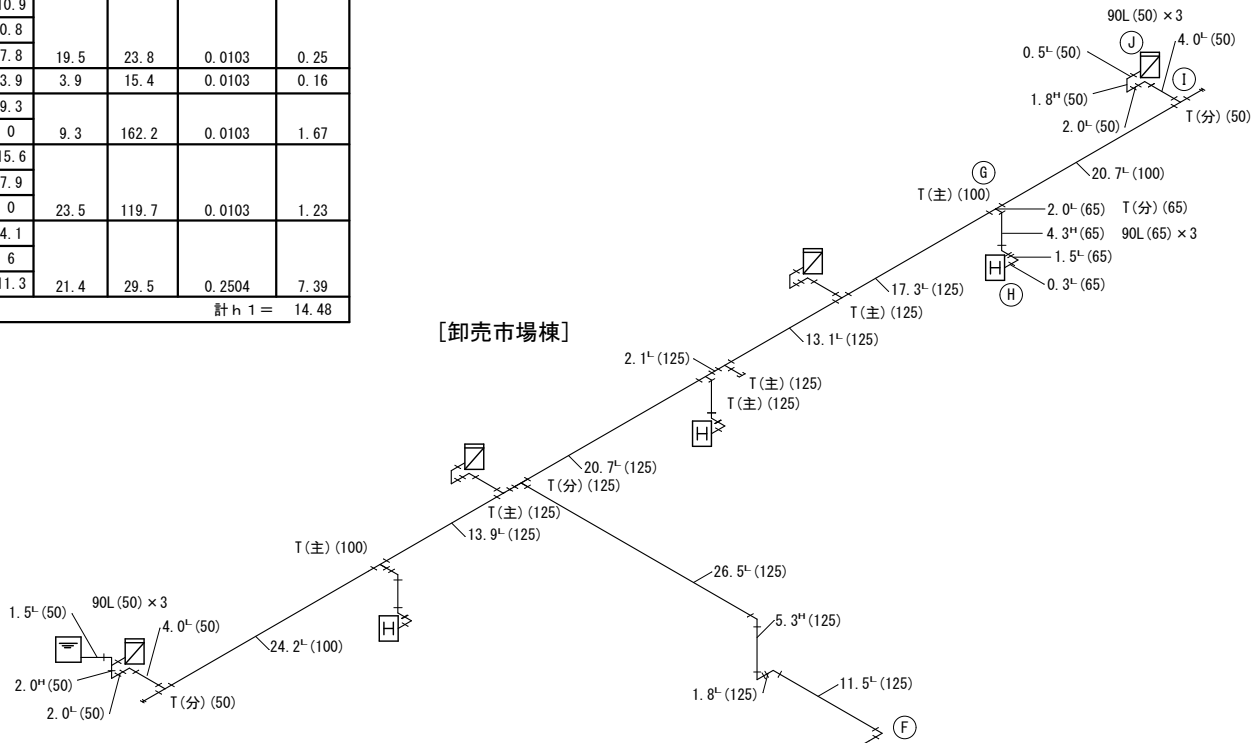


管理サービス棟平面図（改修） S=1/100

大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OGAKI CITY HALL	設計年度	公設地方卸売市場 給水設備改修ほか（衛生）工事	図 名	縮 尺	図 番
	令和7年		管理サービス棟平面図（既設・改修）	S=1/100	MS13/14

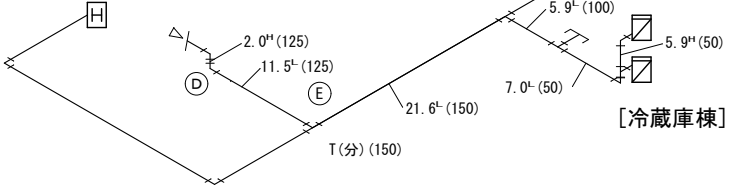
1号屋外消火栓設備 計算書（最高位置、最遠位置）
①ホップの定格吐出量
Q=400×N=400×2=800[L/min]
N:同時開口数
②ホップの定格全揚程
H = (h1+h2+h3+h4)
= (14.5+2.3+25.0+4.0) =45.8[m]
h1:配管の摩擦損失水頭 = 14.5[m]
h2:実揚程（吸込実揚程+吐出実揚程）= 2.3[m]
h3:ノズルの放水圧力水頭 = 25.0[m]（1号消火栓）
h4:消火ホースの摩擦損失水頭 = 4.0[m]（1号消火栓）
③既設消火栓ホップ仕様
125φ×1350[L/min]×75[m]×37[kW]
⇒既設消火栓ホップの能力で問題なく使用可能
④水源 既設消火水源の容量=300[m³]
有効水量 Qk=1.2×Q1=1.2×14.0=16.8[m³]
Q1:7.0×N（同時開口数）=7.0×2=14.0（1号消火栓）
⇒既設消火水源容量で問題なく使用可能

屋外消火栓配管の摩擦損失水頭 h1 計算書															
区間	流量	口径	直管	配管摩擦損失水頭 L' [m]				相当長 L+L' [m]	単位抵抗 [1/100mAq]	区間抵抗 [mAq]					
	[L/min]	(A)	L[m]	種類	相当長	数量	小計								
A-③	800	65	3.5	フット弁	5.6	1	5.6								
				90° エルブ	2.0	3	6								
③-④	800	125	4.3	逆止弁	10.9	1	10.9	11.6	15.1	0.2504	3.78				
				仕切弁	0.8	1	0.8								
				90° エルブ	3.9	2	7.8					19.5	23.8	0.0103	0.25
				90° エルブ	3.9	1	3.9								
④-E	800	125	11.5	T (分流)	9.3	1	9.3								
				T (主流)	0.0	1	0					9.3	162.2	0.0103	1.67
E-⑤	800	125	96.2	90° エルブ	3.9	4	15.6								
				T (分流)	7.9	1	7.9					23.5	119.7	0.0103	1.23
				T (主流)	0.0	3	0								
				90° エルブ	3.9	2	7.8								
⑤-H	800	65	8.1	T (分流)	4.1	1	4.1								
				90° エルブ	2.0	3	6								
				消火栓弁	11.3	1	11.3					21.4	29.5	0.2504	7.39
(A-H) (最高位置計算) = (最遠位置計算)										計 h1 = 14.48					



〔管理サ－ビ－ス棟ホップ室〕

〔管理棟サ－ビ－ス棟〕



〔冷蔵庫棟〕

1号屋内消火栓設備 計算書（最高位置）
①ホップの定格吐出量
Q=150×N=150×2=300[L/min]
N:同時開口数
②ホップの定格全揚程
H = (h1+h2+h3+h4)
= (5.3+8.4+17.0+3.6) =34.3[m]
h1:配管の摩擦損失水頭 = 5.3[m]（左表より最高位置を採用）
h2:実揚程（吸込実揚程+吐出実揚程）= 8.4[m]（最高位置）
h3:ノズルの放水圧力水頭 = 17.0[m]（1号消火栓）
h4:消火ホースの摩擦損失水頭 = 3.6[m]（1号消火栓）
③既設消火栓ホップ仕様
125φ×1350[L/min]×75[m]×37[kW]
⇒既設消火栓ホップの能力で問題なく使用可能
④水源 既設消火水源の容量=300[m³]
有効水量 Qk=1.2×Q1=1.2×5.2=6.24[m³]
Q1:2.6×N（同時開口数）=2.6×2=5.2（1号消火栓）
⇒既設消火水源容量で問題なく使用可能

〈凡例〉

	屋内消火栓（1号）
	屋外消火栓（1号）
	消火用充水槽

屋内消火栓配管の摩擦損失水頭 h1 計算書											
区間	流量	口径	直管	配管摩擦損失水頭 L' [m]				相当長	単位抵抗	区間抵抗	
	[L/min]	(A)	L[m]	種類	相当長	数量	小計	合計	L+L' [m]	[1/100mAq]	[mAq]
A-③	300	65	3.5	フット弁	5.6	1	5.6	11.6	15.1	0.0408	0.62
				90° エルブ	2.0	3	6				
③-④	300	125	4.3	逆止弁	10.9	1	10.9	19.5	23.8	0.0017	0.04
				仕切弁	0.8	1	0.8				
				90° エルブ	3.9	2	7.8				
④-E	300	125	11.5	90° エルブ	3.9	1	3.9	3.9	15.4	0.0017	0.03
E-F	300	125	152.9	T (分流)	9.3	1	9.3	9.3	162.2	0.0017	0.28
				T (主流)	0.0	1	0				
F-⑥	300	125	90.2	90° エルブ	3.9	5	19.5	27.4	117.6	0.0017	0.20
				T (分流)	7.9	1	7.9				
				T (主流)	0.0	3	0				
⑥-①	300	100	20.7	T (主流)	0.0	1	0	0.0	20.7	0.0408	0.84
①-J	300	50	8.3	T (分流)	3.2	1	3.2	15.6	23.9	0.1376	3.29
				90° エルブ	1.8	3	5.4				
				40 消火栓弁	7.0	1	7				
A-① (最高位置計算) = (最遠位置計算)										計 h1 =	5.29